

地域銀

経営者組織をDX化

オンラインコミュニケーション

地域銀行で、取引先企業の会員組織をDX（デジタルトランスフォーメーション）によりオンラインコミュニケーションに発展させる動きが広がり、新たなビジネスモデルとして注目されている。5月26日に広島銀行が開始を表明し、2020年10月の静岡銀行、21年4月の東京きらぼしフィナンシャルグループ（FG）に続き3機関目となった。

プラットフォームを
提供するのは、テイ
ワークス（東京都）
各銀行は同社の基盤上
にそれぞれの取引先

どが集まるコミュニテ
ィーを作り、ビジネス
課題の共有・解決を後
押しする。スタートア
静岡銀は、19年7月
のオフライン行事「テ
ック・ビート・シズオ
カがきっかけで発足。
コロナ禍を受け、20年
10月にテイラーワーク
スの基盤上に移行し
た。現在、地元企業や
自治体、同行の行員、
スタートアップなど約
3200人が登録す
る。

これまでさまざまな
な課題を解決。例えば、
牛乳販売店に対して
は、モビリティ企業が

配達ルートの最適化を
支援。プロックリー農
家には、ドローン開発
企業が最適な出荷時期
把握の自動化をサポー
トした。
東京きらぼしFG
は、子会社が中小企業
向けに「デジバタ」を
運営する。

広島銀は従来、約3
00社の経営者が参加
する「へひろぎん」ニ
ューリーダークラブ

を運営してきた。同行
営業統括部の児玉正和
企業オーナーリレーシ

「オンライン運営を通じて、
お客さまの抱える課題
やニーズを広く共有
し、課題解決のお手伝
いをしたい」と話す。
「オンラインワークスの
大を目指す。」

「難波弘匡社長は、「地
域の課題解決を、DX
の活用により地域銀行
と一緒に支えていきま
い」と語る。22年3月
までに15〜20行への拡
大を目指す。」